

教育力向上福岡県民会議

第1回 専門部会

資料

資料 1	教育力向上福岡県民会議スケジュール(案)	-----	1
資料 2	第一次提言「福岡の教育ビジョン」に提示された取組等	-----	2
参考資料 1 「提案	実体験を重視した教育を推進しよう」に関する資料	--	7
参考資料 2 「提案	学校を支援する体制を整備しよう」に関する資料	---	8
参考資料 3 「提案	学校を支援する体制を整備しよう」に関する資料	---	9

教育力向上福岡県民会議スケジュール（案）

	会 議	専門部会	地区分科会	パブリックコメント
1 月	第 5 回会議 (1 / 15) 第一次提言案の最終審議 知事に提言 (1 / 31)			
2 月				
3 月		専門部会第 1 回 (3 月 27 日) ・ 実体験を重視した教育の推進 ・ 学校支援体制の整備		
4 月		専門部会第 2 回 (4 月 15 日) ・ 保幼の連携、各校種間の一貫した教育の推進 ・ 校長のリーダーシップと教員の力量が発揮できる環境整備 専門部会第 3 回 (4 月 25 日) ・ 家庭の教育力を高める方策 ・ 地域の教育力を高める方策		
5 月		専門部会第 4 回 (5 月 14 日) 第二次提言素案の作成		
6 月	第 6 回会議 (6 月上旬) 第二次提言素案について審議（修正、追加等の意見）	専門部会第 5 回 (6 月 25 日) 第二次提言案の作成 県民会議各委員へ送付、確認	地区分科会開催 (6 月下旬～7 月上旬) 第二次提言案について	パブリックコメント募集 (6 月下旬～7 月上旬) 第二次提言案について
7 月	第 7 回会議 (7 月下旬) 第二次提言の最終審議			

第一次提言「福岡の教育ビジョン」に提示された取組等

大項目	小項目	具体の取組等の記述
提案 実体験を重視した教育を推進しよう	自発的・能動的な体験活動の推進	(01) 事前学習やまとめ学習を含めた、一連の教育活動として企画・実施することが重要 3ページ 最終行
		(02) 指導者やボランティアの確保 4ページ 5行目
		(03) 子どもが宿泊する施設の整備や必要経費の支援等 4ページ 5行目
	外遊びの活性化と運動・スポーツの推進	(04) 保育所(園)、幼稚園においては、幼児の自発的な活動としての外遊びをさらに重視する 4ページ 13行目
		(05) 教師の積極的な指導助言のもと外遊びの活性化を図る 4ページ 16行目
		(06) 「アンビシャス広場」を小学校内に設置するなど、広場を拡充する 4ページ 20行目
		(07) 中学校や高等学校の部活動に外部指導者等の導入 4ページ 23行目
	実体験を通じたコミュニケーション能力の育成	(08) 総合型地域スポーツクラブなどにより、(中略)活動できるよう条件整備を図る 4ページ 27行目
		(09) 子どものコミュニケーション能力を高める教師の指導技術を向上させる 4ページ 39行目
(10) 体験した感想などを十分に話す機会を意図的に多くするとともに、保護者が受容的な態度で子どもの話を聞くようにする 4ページ 41行目		
提案 学校を支援する体制を整備しよう	地域による学校への支援	(11) 地域団体や既存の地域人材バンクを活用するとともに、人材活用をスムーズに行うためのシステムを整備する 5ページ 20行目
		(12) 学校は、教育活動の充実はもとより、適正な情報提供に努める 5ページ 24行目
		(13) マスメディアやスポンサーである企業は、新聞やテレビ等の情報が子どもの成長や学校の教育活動に与える影響について十分に配慮することが望まれる。 5ページ 25行目
	家庭による学校への支援	(14) 学校は保護者の教育に対する考え方やニーズを把握し、それに応えるとともに、学校教育に対する説明責任を果たす努力を惜しまない 5ページ 36行目
		(15) 保護者はPTA活動に積極的に参加するとともに、子育てに対する保護者の責任を果たす 5ページ 39行目
		(16) なお、現在、「早寝・早起き・朝ごはん」や「ノーテレビデー」、「読書活動」など(中略)の運動を全県的に推進し、子どもの基本的な生活習慣や家庭での学習習慣を確立することは、学校にとって大きな支援となる。 5ページ 41行目
	支援を受け入れる体制づくり	(17) 支援する側とされる側をコーディネートする人材を地域に配置 5ページ 47行目
		(18) 学校支援ボランティアと子どもが自由に交流できる交流ルームを学校に設置したりするなどの条件整備 5ページ 48行目

第一次提言「福岡の教育ビジョン」に提示された取組等

大項目	小項目	具体の取組等の記述
提案 保幼の連携、各校種間の一貫した教育を推進しよう	幼児教育の充実	(19)家庭と一体となった幼児教育に取り組む 6ページ 27行目
	保育所(園)・幼稚園の連携及び小学校との連携の推進	(20)県がリーダーシップを発揮し、各市町村に保育所(園)・幼稚園に関する一本化した窓口を設置するなど、両者の連携を促進 6ページ 36行目
		(21)保育所(園)、幼稚園と小学校がお互いの教育内容を理解するために、合同で研修会、情報交流、相互訪問などを行うなどして、連携した取組を進める 6ページ 40行目
	小学校、中学校、高等学校が一貫した教育の推進	(22)そのための条件整備や連携のシステムについて今後整備していく必要 6ページ 45行目
		(23)小・中学校共同での学校行事や交流・合同授業の実施、小学校高学年からの中学校教員による専科授業の実施や一部教科担任制等(中略)小学校と中学校の教師が連携・協力して(中略)習熟度別授業を実施... 7ページ 4行目
(24)...小学校と中学校が一貫した教育の推進に向けた具体的な取組や条件整備、体制づくりを行う 7ページ 9行目		
提案 校長のリーダーシップと教師の力量が発揮できる環境を整備しよう	校長のリーダーシップの発揮	(25)高等学校においては、中学校との連携を強化しながら、小学校や中学校の教育を踏まえ、実態に即して特色ある教育活動を推進していくことが重要 7ページ 11行目
		(26)学校経営能力はもとより、教師を育成する能力を高める内容など、研修の充実を図る 8ページ 13行目
		(27)任命に当たっては(中略)年齢や経験年数等にとらわれず、積極的に登用する 8ページ 15行目
		(28)副校長や主幹教諭等新たな職の設置を図る 8ページ 19行目
	教師の力量の向上と発揮	(29)校長の予算及び人事に関する権限を拡大 8ページ 20行目
		(30)豊富な体験や教材研究による指導技術の向上、教師相互の研修等、教師の資質向上のための研修の在り方について検討 8ページ 30行目
		(31)一人一人が授業を公開するとともに、教師の「自己評価」、教師同士による「相互評価」、児童生徒による「授業評価」も取り込んだ評価システムをより一層充実させる 8ページ 32行目
		(32)子どもと向き合う時間を確保し、教師がプロとしての誇りをもって教育活動に専念できる環境を整備 8ページ 35行目
	学校評価システムの構築	(33)優秀な教師について、(中略)評価結果の処遇等への適切な反映を図り、教師の意欲を高揚させる 8ページ 39行目
		(34)学校関係者評価の実効性を高めるとともに(中略)実効ある学校評価システムを構築していく 8ページ 46行目
		(35)優れた教育活動を展開している学校を表彰する制度を新設する 8ページ 50行目

第一次提言「福岡の教育ビジョン」に提示された取組等

大項目	小項目	具体の取組等の記述
提案 家庭の教育力を高めよう	基本的な生活習慣等の確立	(36) 家族でテレビ視聴やゲームの時間等のルールを決めたり、自分の将来の夢や希望等について話し合ったりするなど、日常の家族の会話を増やす 9ページ 17行目 (37) 「早寝・早起き・朝ごはん」、「ノーテレビデー」、「読書活動」などに、家族ぐるみで取り組む 9ページ 24行目
	子どもの自主的な活動の奨励とそれを見守る大人の姿勢	(38) 試行錯誤しながら自分の力で最後までやり遂げる経験をさせる(中略)できないことだけを指摘することなく、たとえ小さなことでもできたことを認め、ほめる 9ページ 33行目
	家族のコミュニケーションと子育てに関する情報の共有	(39) 躊躇せず子ども部屋に入ることも大切である。また、家族での会話の時間を増やしたり、家族で時間を見つけて屋外での活動をしたりするなど、家族のコミュニケーションの機会を増やすよう努めていく 9ページ 42行目 (40) インターネット等を活用した子育てグループやイベント、相談機関に関する情報等を提供できるように整備するとともに、悩みを共有できる子育てグループづくりや保護者が互いに交流する場や機会を設けるなどの支援 9ページ 49行目
	子どもが集まる地域の中の居場所づくり	(41) 現在、(中略)子どもの居場所としての「アンビシャス広場」づくりに取り組んでおり、(中略)今後も地域の協力を得ながら、この取組を継続・拡充していく 10ページ 12行目
提案 地域の教育力を高めよう	地域で子どもや保護者が学ぶ機会の拡充	(42) 地域が青少年育成団体等を支援しながら子どもの活動を活性化させていく取組を行う 10ページ 19行目 (43) 地域の中で子育てについての情報や学ぶ機会の提供、及び保護者同士のネットワークをつくるなど、地域で安心して子どもを育てられるよう、保護者を支援していく取組 10ページ 24行目
	企業の協力・支援	(44) 地域や学校、行政は、企業の支援を進んで受け入れ、活用できるよう、体制の整備をするとともに、積極的に企業に協力・支援を働きかける 10ページ 33行目 (45) 働く保護者が子どもとふれあい、地域の保護者同士で交流する時間を増やしたり、学校の行事に積極的に参加したりすることができる職場環境づくり 10ページ 36行目

大項目	小項目	具体の取組等の記述	
課題 学ぶ意欲 の低下	体験を重視した学びの推進	(46)日常生活における様々な体験を豊かにし、いろいろな事象に興味・関心をもたせて、学ぶ意欲を高める(中略)学んだことが実生活で役に立つと実感させる 13ページ 20行目	
	学ぶことの意義の理解と将来の自分の生き方を考えさせ、志をもたせる指導の充実	(47)学ぶことの意義を理解させ、今後の自分の生き方を考え、志をもたせる 13ページ 32行目	
	教育に対する強い使命感をもち、結果責任を果たす教師の育成	(48)教材研究、指導方法の工夫改善を日々行っていき強い使命感をもつことと、それを実現する指導体制や環境を整える 13ページ 37行目 (49)教育の成果と課題を常に見直し、教師の資質や指導力等の向上を図る研修の充実 13ページ 45行目	
課題 自尊感情 (自分への自信、 自分を肯定的にと らえる)の低下	自分のよさに気づき、自信をもたせる支援	(50)自分を肯定的にとらえることができるような支援が必要である。また、子どもの悩みや不安に対する適切な支援が行えるような仕組みを充実させる 15ページ 10行目	
	集団で自分の役割を果たす体験と、互いを認め合う集団づくりの推進	(51)子どもに役割をもたせ、その役割を果たす取組を進め、やり遂げる体験を重ねさせる。(中略)子どもの活動を認め、励ましや感謝の言葉を伝える 15ページ 16行目	
	自分の力でやり遂げる体験とそれを支える大人の指導・助言	(52)集団の中で、自信をもって自分のよさを発揮できるように、互いを認め合う集団づくりに取り組む 15ページ 21行目 (53)できる限り自分の力で解決できるような手だてを考えるとともに、失敗体験から学ばせるという意識をもつ 15ページ 28行目	
	子どもを認め、ほめる機会や場の拡充		(54)子どもに失敗を振り返らせる際には(中略)今後の努力・挑戦する意欲につながる指導や助言をする 15ページ 30行目
			(55)地域の回覧板や掲示板を活用した学校情報の提供(中略)子どもの活動等を認め、励ます 15ページ 37行目 (56)学校では地域活動参加への呼びかけをしたり、子どもの地域活動を表彰したりすることなどに取り組む 15ページ 40行目 (57)「青少年アンビシャス運動」に積極的に参加するなど、お互いの取組や活動状況などの情報を共有化することで、子どもを温かく見守りながら、認め、ほめる機会と場を広げていく 15ページ 42行目

大項目	小項目	具体の取組等の記述
課題 規範意識 (規範の理解と実践)の低下	規範を教え、納得させ、実践させる指導	(58)家庭においては躾の徹底、学校においては道徳教育の充実、地域においては大人を含めた社会全体の規範意識の向上等、学校、家庭、地域がそれぞれの取組を相互に理解し、行動に移していく 17ページ 16行目
		(59)子どもに考え、行動させることも大切であるが、その基盤として、「悪いものは悪い」「駄目なものは駄目」と大人が毅然とした態度で規範を教え、ルールを守らないことで後ろめたさを実感させる 17ページ 20行目
	よりよい人間関係を形成する力の育成と他者と関わる体験活動の充実	(60)真心をもって自分の考えを表現したり、他人の意見を謙虚に受け入れたりする力を育てていくとともに、周囲の状況や場を踏まえた態度や行動がとれるように育てていく 17ページ 25行目
		(61)一人一人が勝手な行動をとることによる弊害や、みんなが気持ちよく活動するためのルールやマナーの必要性を、集団活動によって子どもに実感させる 17ページ 28行目
	子どもと共に学び、考え、行動する大人の姿勢	(62)他者と関わりながら共通の目標をめざす活動に取り組む 17ページ 31行目
		(63)携帯電話やインターネットなどは、ルールやマナーが確立しないまま、大人と子どもが同時期に使い始めている。(中略)情報社会における規範なども含めた利用する側に対する教育を進めなければならない 17ページ 38行目
(64)子どもの成長にとって好ましくない情報も一方通行で提供されるテレビ等については、情報提供側の教育的配慮も必要 17ページ 42行目		
課題 低下 体力等の	運動の機会や場の提供	(65)相手の立場に立った行動の仕方や自己責任の在り方などを子どもと共に大人も学び、考え、行動する 17ページ 45行目
		(66)学校においては、始業前・昼休み・放課後を活用しての遊びや運動の奨励、部活動等への加入促進など、継続的な運動の機会や場を増やす 19ページ 5行目
		(67)近隣の学校などとの合同による実施などを進める 19ページ 9行目
		(68)家庭においては、子どもを山や海、川など自然とふれあう活動や外遊びの機会、家族でスポーツに親しむ機会を増やす 19ページ 11行目
	たくましい心身の育成	(69)地域においては、安全な運動のための環境整備、体力向上に向けた運動チャレンジの場や機会の提供、異年齢の子どもが交流する場の確保、子どもの参加を促す地域スポーツ活動の充実等に取り組む 19ページ 13行目
		(70)互いに競い合う中で、勝利から学んだり、敗北から学んだりすることができるように指導し、子どもの発達段階に応じた健全な競争心を満たす取組 19ページ 23行目
		(71)家族で健康であることの大切さ、有り難さを語り合ったり、学校で健康についての正しい知識の習得を図ったりする取組 19ページ 26行目
		(72)幼児期の外遊びを重視し、奨励する取組 19ページ 36行目
幼児期からの外遊びの促進	(73)正しい食習慣と遊びや運動を中心とした運動習慣を確立する 19ページ 40行目	
規則正しい生活習慣と食習慣の確立		

(参考資料1)

「提案 実体験を重視した教育を推進しよう」に関する資料

(1) 学校における体験活動(福岡県教育課程実施状況調査 平成18年度実施分)

体験活動の実施状況

実施の有無	小学校		中学校	
	学校数	割合	学校数	割合
実施した	486校	100%	214校	100%
していない	0校	0%	0校	0%

体験活動の種類

		小学校		中学校	
		実施校数	割合	実施校数	割合
自然体験		481校	99%	160校	75%
内容	栽培活動	472校	97%	50校	23%
	飼育活動	346校	71%	5校	2%
	ふれあい	377校	78%	141校	66%
	その他	19校	4%	3校	1%
共同生活		338校	70%	118校	55%
職場体験		66校	14%	205校	96%
ボランティア		380校	78%	138校	64%
相手	障害者	256校	53%	70校	33%
	高齢者	315校	65%	96校	45%
	幼児	144校	30%	94校	44%
	乳児	11校	2%	34校	16%
伝統文化		340校	70%	78校	36%
内容	美術	19校	4%	8校	4%
	工芸等	119校	24%	23校	11%
	生活文化	210校	43%	33校	15%
	演劇等	128校	26%	31校	14%
	その他	13校	3%	2校	1%
芸術鑑賞		385校	79%	139校	65%
環境		410校	84%	132校	62%
内容	自然保護	173校	36%	35校	16%
	リサイクル	263校	54%	66校	31%
	錯乱防止	105校	22%	39校	18%
	ピオトープ	247校	51%	38校	18%
	その他	19校	4%	12校	6%
国際交流		262校	54%	51校	24%
その他		25校	5%	14校	7%

(2) 日常生活(学校以外)での経験(全国学力・学習状況調査 平成19年度 福岡県分)

(下記の体験について「あまりない」、「全くない」と回答した児童生徒の割合)

	小学校(6年生)		中学校(3年生)	
	あまりない	全くない	あまりない	全くない
海、山、湖、川等での遊び	13.9%	2.7%	13.5%	2.0%
魚や貝や昆虫の捕獲	16.8%	6.6%	21.6%	9.3%
生き物の飼育	12.4%	7.0%	14.5%	7.5%
花や野菜の栽培	18.5%	10.5%	26.8%	17.5%
小さい子どもとのふれあいや遊び	11.2%	6.5%	17.9%	10.9%
体の不自由な人、お年寄り、困っている人の手助け	36.5%	19.2%	38.4%	20.8%
清掃活動への参加	23.8%	18.2%	29.4%	21.3%
木材を使ったものづくり	25.1%	14.6%	27.0%	17.6%
包丁やナイフを使った調理	8.6%	2.9%	12.7%	4.0%
編み物や裁縫	18.9%	9.8%	25.4%	17.9%

(参考資料2)

「提案 学校を支援する体制を整備しよう」に関する資料

(1)地域の人の活用

	小学校	中学校
活用した学校数	486	195
活用していない学校数	1	19

(2)活用した授業の教育課程上の位置づけ

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
国語		22.2%	21.6%	31.8%	31.0%	25.7%	23.0%	4.8%	4.8%	2.9%
社会		*	*	53.0%	47.2%	40.2%	39.2%	3.4%	2.9%	3.9%
算数、数学		2.9%	3.5%	4.3%	2.5%	1.8%	2.1%	0.5%	0.5%	1.0%
理科		*	*	4.3%	2.9%	4.5%	3.7%	0.0%	0.5%	0.5%
生活		86.9%	87.3%	*	*	*	*	*	*	*
音楽		8.2%	6.4%	10.7%	11.9%	26.7%	25.9%	4.3%	2.9%	3.4%
図画工作、美術		3.9%	4.3%	4.9%	5.1%	6.8%	8.0%	0.0%	0.5%	0.5%
家庭、技術・家庭		*	*	*	*	12.9%	13.8%	3.4%	4.8%	8.2%
体育、保健体育		8.8%	10.3%	10.5%	11.3%	12.5%	12.5%	2.9%	4.8%	5.3%
外国語		*	*	*	*	*	*	1.0%	1.0%	1.9%
道徳		3.5%	4.7%	5.1%	4.7%	5.7%	6.4%	8.7%	6.3%	8.2%
特別活動	学級活動	4.3%	3.5%	3.9%	3.3%	4.1%	3.9%	9.7%	10.6%	10.1%
	児童会	9.4%	9.7%	9.7%	9.9%	11.1%	10.7%	3.4%	3.4%	2.9%
	クラブ	*	*	*	48.0%	52.2%	48.7%	*	*	*
	学校行事	37.6%	37.2%	38.0%	38.6%	45.0%	39.6%	29.0%	29.5%	27.5%
総合		*	*	87.1%	90.8%	95.7%	86.9%	80.7%	96.6%	79.2%

(3)地域施設の活用

	小学校	中学校
活用した学校数	472	176
活用していない学校数	15	38

(4)学校評価の実施状況

自己評価の実施状況 (文部科学省「学校評価と情報提供の実施状況調査」より)

	14年	15年	16年	17年	18年	19年
小学校	97.8%	99.2%	100%	100%	100%	100%
中学校	96.7%	98.1%	100%	99.5%	100%	100%

19年度は本県調査による

自己評価の公表

	14年	15年	16年	17年	18年
小学校	未調査	35.9%	38.3%	62.9%	37.9%
中学校	未調査	50.5%	30.4%	64.6%	38.6%

(参考資料 3)

「提案 学校を支援する体制を整備しよう」に関する資料

小・中学校における外部人材の活用例

教科等	主 な 内 容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語や昔話等の読み聞かせ（ボランティアグループやPTAサークル等） ・ 新聞記事の編集の仕方や番組作りに関する指導（新聞記者、アナウンサー） ・ 書写（毛筆、硬筆）における実技補助（書道サークル 等） ・ いろいろな地方の方言の紹介（地域の方、保護者）
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の生産活動・消費活動等に関する内容のゲストティーチャー（商店主、農家、工場主、警察官、消防士 等） ・ 昔の生活や戦争中の様子に関する内容のゲストティーチャー（高齢者等） ・ 世界の国々の生活等に関するゲストティーチャー（外国の方 等）
算数 数学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補充学習等における支援人材（個別指導の援助、九九の暗唱チェック、マルつけ 等）
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元「誕生の不思議」「体のつくりとはたらき」でのゲストティーチャー（医師、助産婦、保護者 等）
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜や花の栽培における名人（農家、園芸店主、園芸グループ等） ・ 小動物との接し方に関する指導（獣医師 等） ・ 昔の遊び等の名人（高齢者 等） ・ 校外学習時の安全見守り
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和楽器（和太鼓、笛、尺八等）の実技指導やモデル演奏（地域の方 等） ・ 合唱や吹奏楽の実技指導 ・ 世界の民俗音楽や舞踏のモデル演奏（外国出身の方、海外在住経験者 等）
図工 美術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術作品の解説（美術館の学芸員 等）
家庭 技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理実習や裁縫実習における支援者（保護者、地域サークル 等） ・ 保育体験に関する指導（保育士、読み聞かせボランティア 等） ・ 地産地消に関する説明や調理実習（生産者、農協職員 等） ・ ものづくり（木工）に関する支援（大工組合 等）
保健 体育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実技指導の補助（バレーボールサークル、バトミントンクラブ 等） ・ たばこや薬物による健康被害等の学習におけるゲストティーチャー（薬剤師、警察関係者、立ち直り支援サークル関係者 等）
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校外国語活動への支援（外国出身の方、保護者 等） ・ 教科書の題材に応じたスピーチ（インド、ケニア等の出身の方）
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に関するゲストティーチャー（市役所等の環境課や清掃工場等の職員、環境関係団体の方 等） ・ 福祉に関するゲストティーチャー（高齢者施設の職員、介護に関する病院関係者、まちづくり関係団体 等） ・ 国際理解に関するゲストティーチャー（外国の方、海外在住経験者等） ・ 栽培活動（稲作、花作り）や野生生物保護に関するゲストティーチャー
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ活動や部活動における実技指導（バレーボールやサッカー等のスポーツ実技、日本舞踊や生け花 等） ・ 通学路等における安全見守り ・ キャリア教育としての職場体験に関する協力者 等